

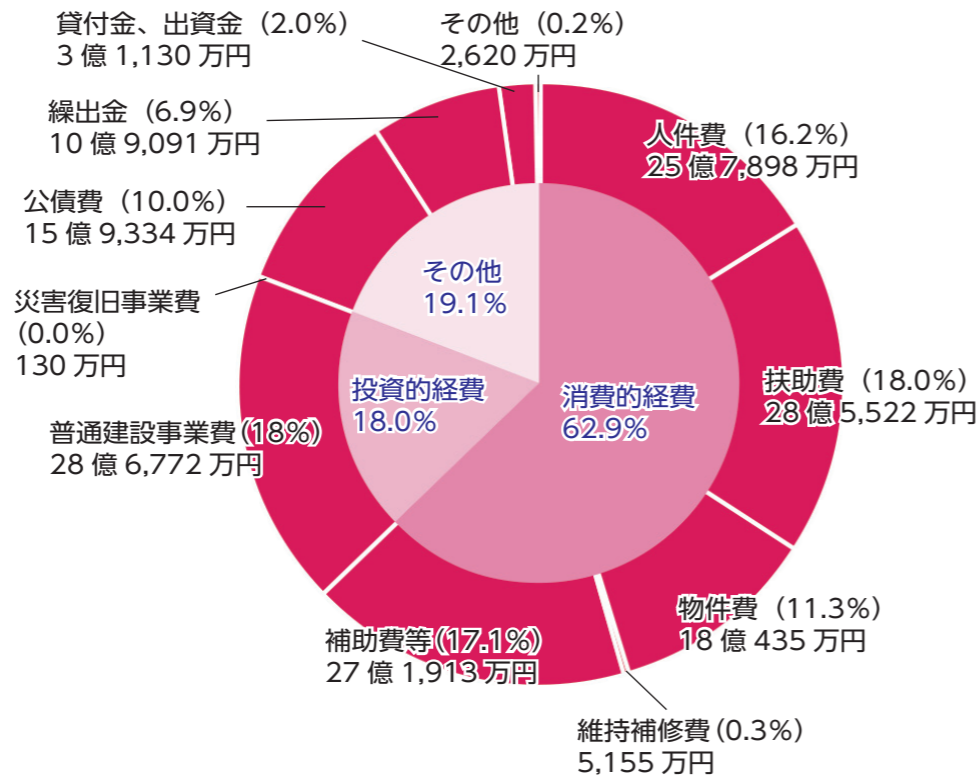
令和4年度
あわら市の
予算

問合せ
財政課 ☎73-8008

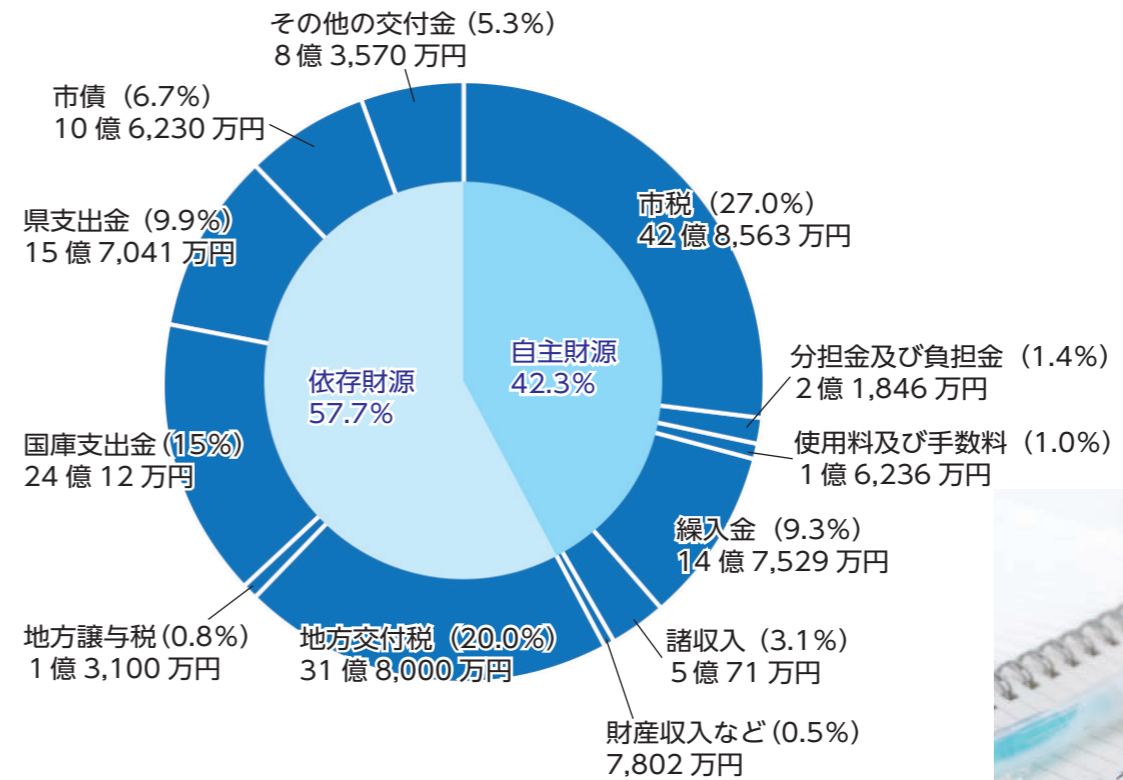


※ 画像は全てイメージです。

一般会計歳出 (性質別)



一般会計歳入



家計簿でチェック

令和4年度の当初予算 159億円を分かりやすく
3,000分の1に置き換えて家計簿にしました。

1年間の収入合計	約530万円	1年間の支出合計	約530万円
基本給与 (市税)	142万 8,545円	食費 (人件費)	85万 9,661円
諸手当 (分担金及び負担金)	7万 2,820円	医療費 (扶助費)	95万 1,740円
副業収入 (使用料及び手数料)	5万 4,120円	光熱水費、消耗品費など (物件費)	60万 1,449円
預金の取り崩し (繰入金)	49万 1,763円	子どもへの仕送りなど (補助費等)	90万 6,378円
臨時収入など (寄付金、財産収入など)	19万 2,909円	家や車などの修繕費 (維持補修費)	1万 7,183円
親からの援助 (交付税、国県補助金など)	270万 5,743円	家などの増改築 (普通建設事業費)	95万 5,906円
銀行からの借り入れ (市債)	35万 4,100円	借金返済 (公債費)	53万 1,115円
貯金残高 (財政調整基金)	68万5,334円	貯金 (積立金)	5,399円
借金残高 (市債残高)	595万6,600円	その他 (予備費、貸付金、繰出金など)	47万 1,169円

収入をみると、昨年より基本給与は増えているものの、収入の半分以上を親からの仕送りに頼り、銀行からの借り入れも毎年行っています。今後は、親からの仕送りや借り入れの依存を少なくし、基本給与や諸手当、副業収入の増に努め、支出を抑えていくことが必要です。

支出では、食費や医療費、借金返済などの節約が難しい経費が半分近くを占めています。

これまで、食費や光熱水費、消耗品費などを切り詰めてやりくりしてきましたが、今後もより一層の努力が必要です。

一般会計当初予算規模 159億円

「暮らしやすくして 幸せを実感できるまち」を目指して

市の貯金 — 財政調整基金

市の貯金である財政調整基金は、令和3年度末で前年と比較して6億5,200万円増の32億6,600万円となる見込みです。令和4年度当初予算では、財源不足を補填するため、12億1,000万円の取り崩しを計上しています。

市の借金 — 市債残高

市の借金である市債は、令和3年度末で約183億3,700万円となる見込みです。令和4年度当初予算では、芦原温泉駅周辺整備事業などの費用に充てるため10億6,230万円の借り入れを予定しています。令和4年度末では、前年と比較して約4億6,700万円減の約178億7,000万円となる見込みです。

各会計の当初予算額 (合計 229億6,701万円)

一般会計	159億円	特別会計	38億4,200万円	企業会計	30億1,629万円
市の基本的な行政サービスの経費を収支する会計		保険料など特定の収入で特定の支出に充てる会計。収入の使い道が決まっているため一般会計とは分けています。		一般の会社と同じように、独自の収入でその経費をまかなう「独立採算」を原則とする会計	
		国民健康保険特別会計	29億8,820万円	水道事業会計	9億3,535万円
		後期高齢者医療特別会計	4億5,280万円	公共下水道事業会計	20億8,094万円
		農業者労働災害共済特別会計	500万円		
		公共用地先行取得事業特別会計	3億9,600万円		
				芦原温泉上水道財産区水道事業会計	2億872万円
				芦原地区の特定区域 (財産区) の水道事業を運営する会計	